

外務大臣政務官

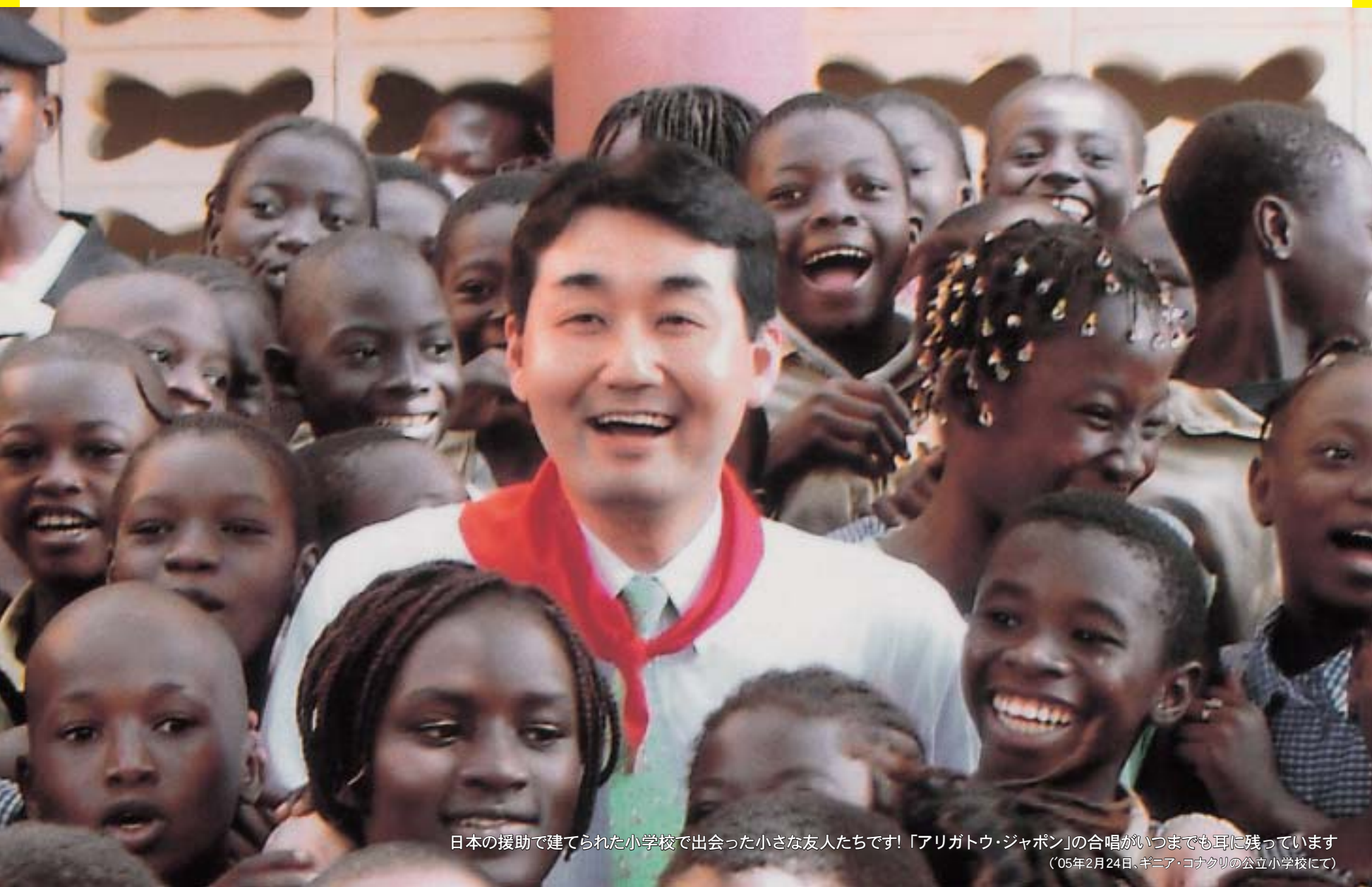
河井克行

“日本の閉塞感を打ち破り、勇気と希望を持って未来という海原に船出しよう!”

SAILING
大航海時代

2005年8月号[外務大臣政務官活動特集号]

自由民主党広島県第三選挙区支部／河井克行を育てる会



日本の援助で建てられた小学校で出会った小さな友人たちです!「アリガトウ・ジャポン」の合唱がいつまでも耳に残っています
(’05年2月24日、ギニア・コナクリの公立小学校にて)

改革か! 停滞か? ～日本の平和と繁栄を守るのはどちらか～

いつも温かいご理解と力強いご支援を賜りまして本当にありがとうございます。

昨年秋に外務大臣政務官を拝命して10ヶ月が経ちました。外務省では北米、中東・アフリカ、経済協力、軍縮・核不拡散、科学を担当し、この間、12回の出張に赴き、延べ52ヶ国・地域を訪れました。

戦後60年の節目の年。国連安全保障理事会常任理事国入りへの支持要請をするため、内閣総理大臣親書を携え数多くの世界各国の首脳にお会いしました。

また、広島の悲願である「核兵器のない、平和で安全な地球」をつくるために力を尽くしています。ニューヨークで開かれた核兵器不拡散条約(NPT)運用検討会議への出席。極東ウラジオストクにおけるロシア退役原子力潜水艦の解体事業への協力も現地を視察し、協議を行ってきました。

出張からふるさとに帰り考えること、それは、さまざまな課題はあっても「日本が世界で一番素晴らしい国だ」ということ、そして「でも、それがこれから先も続く保証はどこにもない」ということです。資源がない日本がこの地上で生き残るには、世界の国々と良い関係を保ち、各国から尊敬されなければなりません。平和と繁栄は不断の努力、すなわち絶えざる改革の積み重ねがあって初めてもたらされるもの、そんな思いを強くいたしております。

これからも、より一層のご指導を心からお願い申し上げます。



外務大臣政務官
衆議院議員

河井克行



ギニア訪問日程 (’05年2月21日～26日)

訪問の目的

国連・安保理改革の早期実現及び日本の常任理事国入りに対する理解と支援の取り付けを行うと共に、日本が提唱しているTICAD（アフリカ開発会議）プロセスを中心に、わが国が積極的に取り組んでいる対アフリカ外交姿勢をアピールする。

2月21日(月) 日本→フランス

機内泊

2月22日(火) フランス→ギニア

パリ発コナクリ着、泊

2月23日(水) ギニア

- コンデ外相と会談
- トゥーレ漁業・養殖相と会談
- ソンパレ国民議会議長を表敬



国民議会議長（私の左隣）との会談には多くの議員が同席

- ディアロ首相との会談



日本の国連安保理常任理事国入りへの支持を要請する小泉総理の親書を手渡す

- 在留邦人との懇談会
- コナクリ泊

2月24日(木) ギニア

- ブルビネ漁港視察



日本の援助でつくられたブルビネ漁港で燻製に従事する地元の肝っ玉母さんらに歓迎

- 小学校建設予定地視察
- 国立博物館視察
- コナクリ泊

2月25日(金) ギニア→フランス

機内泊

2月26日(土) フランス→日本



イギリス訪問日程 (’05年3月17日～20日)

訪問の目的

7月に開催されるG8グレンイーグルズ・サミットに向けた準備の一環として、G8の貢献策の策定作業に積極的に参画するため、環境・開発大臣会合において、わが国の環境・開発分野における援助方針や取り組みを主張しつつ意見交換を行う。

3月17日(木) 日本→イギリス

- ロンドン発ダービーシャー着
- 夕食会
- ダービーシャー泊

3月18日(金) イギリス

- 開発大臣会議に出席



アフリカの発展と気候変動について日本政府を代表して発表。日本がアジアに行ってきた開発援助の成果を強調し、人工衛星技術を駆使した国際貢献も訴える

- G8環境・開発大臣合同会議出席
- 全大臣によるプレス会見・昼食会



主催者のベケット英国環境・食糧・農村大臣やベン国際開発大臣らと

ダービーシャー発ロンドン着

- 記者会見
- ロンドン泊

3月19日(土) イギリス→日本

ロンドン発、機内泊

3月20日(日) イギリス→日本



湾岸アラブ諸国訪問日程 (’05年3月28日～4月4日)

訪問の目的

【イエメン】
わが国政府要人のイエメン訪問は2年半振りの訪問で、二国間関係の強化、国連改革等につき意見交換を行う。

【カタール】
わが国政府要人のカタール訪問は4年ぶりの訪問で、二国間関係、国連改革等について意見交換を行う。

【サウジアラビア】
日本サウジアラビア外交関係樹立50周年を記念した訪問で、二国関係の更なる強化、国連改革等に関し意見交換を行う。

3月28日(月) 日本→イエメン

機内泊

3月29日(火) イエメン

- ドバイ発サヌア着
- サーレハ大統領表敬



サーレハ大統領から日本の国連安保理常任理事国入りへの支持が表明

- イエメン・日本友好議員連盟メンバーとの懇談
- スーファーン副首相兼計画国際協力大臣との会談
- カルビー外務大臣との会談
- サヌア市環境啓蒙センターで草の根無償の機械供与式に出席



アル・カフラーニ・サヌア市長や「サヌア美化隊」の少年少女の歓迎を受ける。たしかに街はきれいでした

- ノーマーン・サウラ紙との単独インタビュー



最有力全国紙「ノーマーン・サウラ」の単独取材を受ける

- 在留邦人との懇談
- サヌア泊

3月30日(水) イエメン→カタール

- サヌア発ドーハ着
 - アジア大会開催予定地の視察
 - 和太鼓演奏会
- ドーハ泊

3月31日(木) カタール

- マハムード外務担当国務大臣との会談
- アティーヤ第二副首相兼エネルギー・工業大臣表敬



大の親日家で知られるアティーヤ大二副首相兼エネルギー・工業大臣からは、エネルギー分野での二国間の強固な関係の維持で一致

- 在留邦人との懇談・昼食会
- ムハンマド経済通商大臣表敬
- カタール・日本直行便就航式



カタール航空日本直行便就航記念和太鼓公演の冒頭で挨拶

ドーハ泊

4月1日(金) カタール→サウジアラビア

ドーハ発バーレーン経由リヤド着



カタールのアラビア語紙『アルラーヤ』

- 馬車クラブ場
- ジャパンカップ観戦・授与式



日本・サウジアラビア外交関係樹立50年記念のジャパンカップを観戦し、勝者に優勝杯を授与。実に清潔で美しい競馬場でした

- 在留邦人との懇談・夕食会
- リヤド泊

4月2日(土) サウジアラビア

- ゴサイビ経済企画大臣表敬



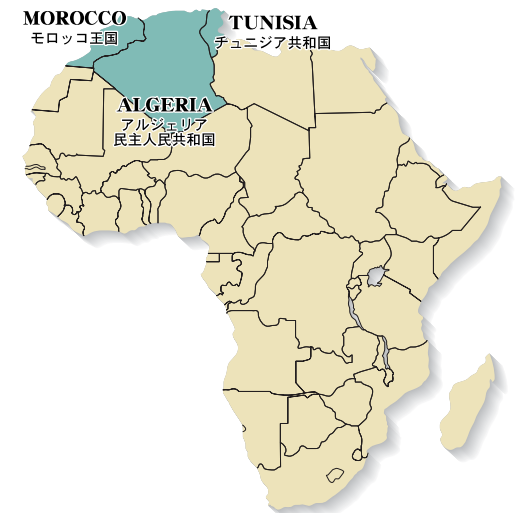
内閣における日本との窓口である経済企画大臣とは石油だけの関係でない多角的な貿易経済関係の構築について議論を行う

- マダニ外務副大臣
 - 赤い砂漠視察
- リヤド泊

4月3日(日) サウジアラビア→シンガポール

機内泊

4月4日(月) シンガポール→日本



マグレブ地域諸国訪問日程 (’05年4月12日～18日)

訪問の目的

- 【モロッコ】
来年、日本・モロッコ外交関係樹立50周年を迎えるのを機に、両国関係の緊密化に向け発展させていくことを確認する。
- 【チュニジア】
日本からの直接投資の増大、日本の伝統的な文化だけではなく、若い世代に人気のある日本の漫画を紹介する。
- 【アルジェリア】
アルジェリア国内の治安情勢が安定化しつつあることを背景に、二国間関係の強化に向け努力を行う。

4月12日(火) 日本→フランス

パリ泊

4月13日(水) フランス→モロッコ

バリ発ラバト着

- ファシ・フィフリ外務・協力担当特命大臣との会談
- ジェットウ首相への表敬



二国間関係の一層の緊密化について議論。国連改革について日本の主張への支持表明

- 現地プレスとの懇談、インタビュー
 - ベナイッサ外相への表敬
 - JICA関係者との懇談・激励会
 - ファシ・フィフリ外相・協力担当特命大臣主催夕食会
- ラバト泊

4月14日(木) モロッコ→チュニジア

カサブランカ発チュニス着
●カルタゴ及びシディブ・サイド視察



英雄ハンニバルを生んだカルタゴの遺跡にて。古代地中海随一の通商国家がなぜ滅んでしまったのか？ 現代日本との共通点は？ など思いをめぐらしながら

●チュニジア大使主催夕食会
チュニス泊

4月15日(金) チュニジア→アルジェリア

●ガンヌーシ首相との会談



国連安保理改革の日本の立場への全面的な支持表明がなされた

●ヘルマッシン外相との会談
●JICA及び邦人企業関係者との激励・懇談会
●現地プレスによるインタビュー
チュニス発アルジェリア着、泊

4月16日(土) アルジェリア

●アブデラジズ・ベルハデム外務大臣表敬



国連安保理改革をめぐって率直な意見交換。AU（アフリカ連合）における改革慎重派の旗頭・アルジェリアの考え方をよく知ることができた

●アルジェリア独立記念塔視察
●サイダニ国民議会議長表敬
●アルジェリア・日本友好議員連盟発足式



国民議会（下院）議長立会いのもとで、アルジェリア・日本友好議員連盟の発足式が挙行

●日本人会との夕食会
アルジェ泊

4月17日(日) アルジェリア→フランス

アルジェ発パリ着、泊

4月18日(月) フランス→日本

ブラジル・米国訪問日程 ('05年5月5日～14日)

訪問の目的

【ブラジル】
リオデジャネイロで州政府関係者、日系企業関係者等との意見交換を行う。また、イグアスで第6回米州議員連盟総会に出席、講演等を行う。

【アメリカ合衆国】
オハイオ州デイトンで講演、日系人との懇談。また、ニューヨークで核兵器不拡散条約(NPT)運用検討会議のNGO（非政府組織）会議に出席する。

5月5日(木) 日本→ブラジル

機内泊

5月6日(金) ブラジル

サンパウロ発リオデジャネイロ着
●コンジ・リオデジャネイロ州副知事との会談
●現地商工会議所幹部との夕食懇談会
リオデジャネイロ泊

5月7日(土) ブラジル

●ビーチサッカーW杯日本代表激励
●日系団体幹部との昼食懇談会
リオデジャネイロ発サンパウロ着
●日系団体幹部、日系議員との夕食懇談会
サンパウロ泊

5月8日(日) ブラジル

●広島県人会との懇談
サンパウロ発イグアス着
●マニーニャ米州議員連盟議長との会談
イグアス泊

5月9日(月) ブラジル→アメリカ合衆国

●カバルカンチ・ブラジル下院議員、レキオン・パロナ州知事らとの意見交換
●米州議員連盟総会開会式
●現地日系人との昼食懇談会
●米州議員連盟総会の「移住」会議で講演



総会では「日本におけるボロロッカ：日本人のブラジル移住とその逆流現象」（ボロロッカとはアマゾン川が逆流する現象の現地語）と題して講演を行う。日系移民の苦難の歴史と、最近の在日ブラジル日系人の抱える課題について、群馬県太田市での現地調査結果も交えて発表。2008年に移住百周年を迎えるブラジル日系社会はいまや140万人。広島県出身者は約10万人と言われる

イグアス発サンパウロ着、泊

5月10日(火) アメリカ合衆国

ダラス発デイトン着
●デイトン地域日系人代表との懇談
●ライン・マックリン・デイトン市長との懇談
●地元紙とのインタビュー



地元紙『デイトン・デイリー・ニュース』の取材を受ける

●デイトン市関係者との夕食懇談会
デイトン泊

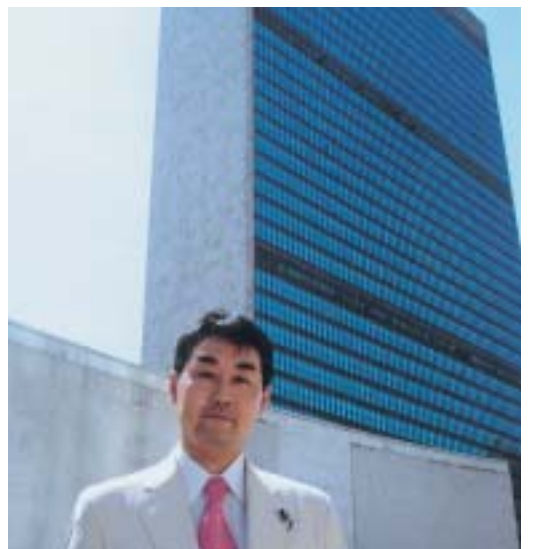
5月11日(水) アメリカ合衆国

●デイトン市議会にてスピーチ



1988年、松下政経塾の国際政治行政研修の一環として約1年滞在したオハイオ州デイトン市の議会を訪問し、日本の外交政策や国連常任理事国入りなどについて演説

デイトン発ニューヨーク着
●核兵器不拡散条約（NPT）運用検討会議NGO会議への出席



加盟191ヶ国が自国の利益を守るためにしのぎを削っている国連本部の前にて、ちょっぴり緊張した面持ち



5年に一度開かれるNPT運用検討会議のNGOセッションに参加



5月13日付『中国新聞』

●原爆展視察



被団協が主催、日本の外務省が後援した「原爆展」を見学。たくさんの思いがこめられた折鶴をレセプション会場で飾るためにお借りしました

●河井政務官主催レセプション



日本を含む世界各国のNGO、デュアルテNPT運用検討会議議長、各主要委員会の議長、各国外交団、報道関係者など300人近い参加

●大島国連代表部大使主催夕食会 ニューヨーク泊

5月12日(木) アメリカ合衆国

- フィンランド常駐代表との意見交換
- コートジボアール常駐代表との意見交換
- ボスニア・ヘルツェゴビナ常駐代表との意見交換
- アフリカ地域常駐代表とお茶会
- アラブ地域常駐代表とお茶会
- 邦人記者会見
- 在ニューヨーク総領事館主催夕食会
ニューヨーク泊

5月13日(金) アメリカ合衆国→日本



ブータン・ネパール訪問日程 (’05年6月9日～14日)

訪問の目的

【ブータン】

来年、日・ブータン外交関係樹立20周年を迎えることを踏まえ、日・ブータン関係強化、国際情勢等につき政府要人等との会談を行うほか、わが国の経済協力案件の視察を行う。

【ネパール】

来年、日・ネパール外交関係樹立50周年を迎えることを踏まえ、日・ネパール関係及び最近のネパール情勢等につき政府要人等との会談を行うほか、わが国の経済協力案件の視察を行う。

6月9日(木) 日本→タイ

バンコク泊

6月10日(金) タイ→ブータン

バンコク発パロ着

- ティンレイ内務・文化大臣、ナド・リンチェン環境副大臣等との懇談
- パロ発ティンプー着
- ワンチュク外務大臣表敬



●国会議事堂視察



王宮を背景にして。チベット地方文化独特の建築様式が壮観

●ノルブ大蔵大臣表敬 ティンプー泊

6月11日(土) ブータン

- ブータン国营放送(BBS)送信施設視察
- ワンチュク国王拝謁



ワンチュク国王が提唱したGNH (Gross National Happiness = 国民総幸福量) に基づく国づくりにかねてより関心をもっていた私にとって、国王から直接GNHの理念をお聞きすることができ、感激をした。9月中旬に東京でGNHに関するシンポジウムを開催したい旨を提案

●リンチェン・クンペン小学校視察



JICA (国際協力機構) の日本人専門家が活躍している首都・ティンプーの小学校にて。男性は「ゴ」、女性は「キラ」と呼ばれる民族衣装を着用



古き良き日本の農村風景が広がり、田植えが終わったばかりの早苗が風に吹かれていました

- 日本の経済協力案件であるBBS視察
- BBS、クエンセルによるインタビュー
- 在留邦人との懇談
- ジンバ首相兼通商産業大臣表敬
- 日本の経済協力案件であるBBS野外中継車視察
- ティンプー発パロ着
- 農業機械センター、ダショー西岡記念チルテン視察
- ブータン農業省次官主催夕食会
パロ泊

6月12日(日) ブータン→ネパール

パロ発カトマンドウ着

- 報道関係者との懇談
- ギリ内閣副議長表敬
- ピスタ内閣副議長表敬
- 旧王室等視察
- ギャネンドラ国王拝謁
- 在留邦人との懇談
カトマンドウ泊



ネパール語紙『ラージダニ』の一面トップで国王との拝謁が報道。国王には小泉総理からの国連安保理改革への理解を求める親書を手渡す

6月13日(月) ネパール→タイ

- 日本の経済協力案件であるネパール自然災害軽減支援プロジェクト・フォローアップサイト視察



国土交通省の砂防専門家派遣されている、がけ崩れや地すべりなどの自然災害による被害を防止するための拠点施設を見学。平成11年6月の広島集中豪雨被害の現場を歩いた体験を語りました

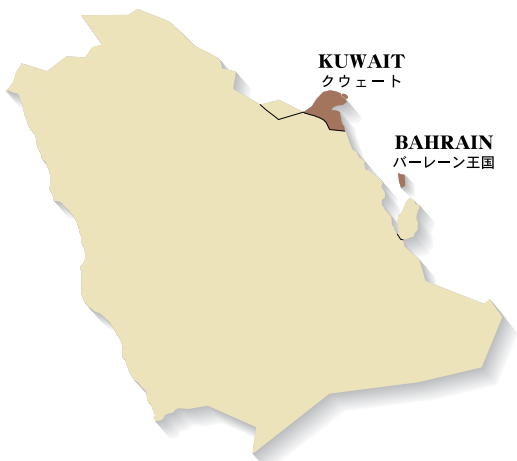
●日本の経済協力案件であるカンティ病院視察



この新生児用の集中治療室の設備も日本の援助でつくられたもの。「早く大きく元気になって!」と思わず声をかけました

カトマンドウ泊

6月14日(火) タイ→日本



バーレーン・クウェート訪問日程
(’05年6月24日～28日)

訪問の目的

バーレーン及びクウェート政府要人と会談し、国連・安保理改革、二国間関係、地域情勢等について意見交換を行う。

6月24日(金) 日本→タイ

バンコク泊

6月25日(土) タイ→バーレーン

- バンコク発バーレーン着
●ザハラーニ下院議長表敬
●ムハンマド副首相兼外相表敬



国連安保理改革に関するハマド国王宛の小泉総理親書を手渡し、日本への支持を要請

- シェイク・アブドルアジーズ外務次官補主催昼食会
●主要紙との会見



アラビア語紙
『アル・アヤム』

- 在留邦人との懇談
バーレーン泊

6月26日(日) バーレーン→クウェート

- バーレーン発クウェート着
●ハールーン国民議会経済・財政委員長との会談
●陸上自衛隊イラク復興支援群クウェート分遣班(キャンプ・ヴァージニア)視察・激励



米軍などの多国籍軍が駐留するキャンプ・ヴァージニアにて。摂氏45度の酷暑ではテント内の冷房がまるで“暖房”のよう

- 第6次イラク復興派遣輸送航空隊(アリ・アル・サーレム空軍基地)視察・激励



クウェートへの空輸業務にあたる航空自衛隊の基地を激励に訪れる

- ジャービル副首相兼国防相表敬
クウェート泊

6月27日(月) クウェート→タイ

- マアスーマ計画相兼行政改革担当国務相表敬



2週間前にクウェート初の女性閣僚に任命されたばかりのマアスーマ女史と。女性の社会進出支援についての日本の積極的な協力を申し出る

- ジャーラッラ外務次官との会談
●イラク国境視察
●クウェート国营通信社のインタビュー
●在留邦人との懇談
バンコク泊

6月28日(火) タイ→日本



ロシア(ウラジオストク)訪問日程
(’05年7月9日～11日)

訪問の目的

日本が支援している退役原潜解体協力事業「希望の星」の解体現場等を視察するとともに、同事業の現状、今後の取り組み方や日本と沿海地方、ウラジオストクとの関係強化について関係者と意見交換すること。

7月9日(土) 日本→ロシア

- 富山発ウラジオストク着
●在留邦人との懇談
ウラジオストク泊

7月10日(日) ロシア

- ズヴェズダ造船所視察

7月18日付『中国新聞』



「希望の星」事業の1隻目の原潜解体を行った造船所を視察。写真は事故を起こし退役したエコ級原潜がまさに解体されている現場

- ラズボイニク湾ダリラオ社施設視察



29隻分の原子炉区画が海上に繋留されている現場を見て、船体の腐食の可能性が高く、環境に与える危険性を強く実感。近いうちに陸上に保管するための施設建設への日本の協力について協議を開始することを決意

ウラジオストク泊

7月11日(月) ロシア→日本

- ゴルチャコフ沿海地方副知事表敬

●フォードロフ太平洋艦隊司令官表敬



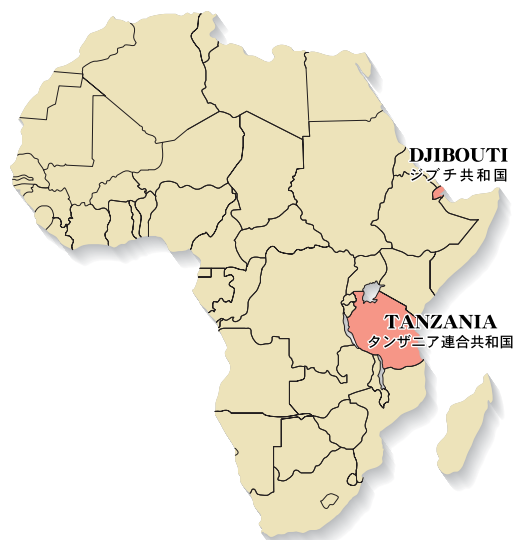
日本海を取り巻く東アジア地域の安全保障について幅広く有意義な意見交換を行う。ロシアが民主的で平和な国家でありつづけることが、日本の安全のために極めて大きな意味をもっていると認識

●記者会見



日本の支援の継続と新たな陸上保管施設建設への協力について協議を早期に始めたい、という私の発言は現地で大きく報道された

●日本人墓地献花（アルチョム市日本人墓地）



ジブチ・タンザニア訪問日程

（'05年7月13日～20日）

訪問の目的

安保理改革について、意見交換及び働きかけを行うとともに、二国間関係の強化を図ること。また、アフリカ開発会議（TICAD）を基軸とする日本のアフリカ支援をアピールすること。

7月13日(水) 日本→イギリス

機内泊

7月14日(木) イギリス→ケニア→ジブチ

ロンドン、ナイロビ経由ジブチ着

●ゲレ大統領表敬



日本の国連安保理常任理事国入りへの完全な支持の表明とAU諸国への働きかけが確約

●ユスフ外相主催昼食会

●フクザワ学校視察

ジブチ泊

7月15日(金) ジブチ→タンザニア

●在留邦人との懇談

●日本の経済協力案件であるテレビ放送局視察、地元ニュースに出演



10数年前に日本の援助でつくられた放送局の機材はまだアナログ形式のまま。現地の技術者によって長年丁寧に保守管理が施されていたのが印象的

ジブチ発

機内泊

7月16日(土) タンザニア

アジスアベバ経由タンザニア着

●AtoZ社（蚊帳製造工場）視察

●日本の経済協力案件であるマクユニ・ンゴロンゴロ道路視察

●天然資源・観光省関係者との意見交換
マニャラ湖国立自然保護区泊

7月17日(日) タンザニア

●天然資源・観光省関係者との意見交換

●在留邦人との懇談

ダルエスサラーム泊

7月18日(月) タンザニア

●人間の安全保障基金案件である「タンザニア北西部における持続可能な人間開発を通じた人間の安全保障の強化プロジェクト」実施セレモニー兼記者会見



国連開発計画、世界食糧計画、国連食糧農業機関、国連工業開発機関、国連児童基金と協力し、タンザニア北西部地域に周辺国から入ってきた難民が抱える様々な課題の解決に約4億円の支援を行うことを発表。



英字紙
『ザ・シチズン』

●日本の経済協力案件であるベンジャミン・ムカバ中学校視察



元気いっぱい、タンザニアの子供たち。「いつの日か、他の国を援助できるようなタンザニアをつくってね」と訴える

●ムカバ大統領表敬



英国グレンイーグルスで開かれた今年のG8サミットにアフリカの代表として招かれた大統領は実に聡明で温和な指導者でした

●在留邦人との懇談

ダルエスサラーム泊

7月19日(火) タンザニア→イギリス

機内泊

7月20日(水) イギリス→日本

国内&地元での活動



8月1日

毎年恒例の「ゆめづくりフォーラム」が1400人のご参加をいただき開催。当日は、町村信孝外務大臣も応援にかけつけ、「河井政務官は12回も海外出張に行くなど、日本の国益を守るため、外交の最前線で本当によくやっている」と

パネル・ディスカッションでは、政治ジャーナリスト・岩見隆夫氏の進行により、逢沢一郎・外務副大臣、櫻田義孝・元外務政務官、猪口邦子・上智大学教授といった論客が日本の外交について丁々発止の議論を展開した



2月6日

安芸高田市で行われた児玉浩県議と織田邦夫前美土里町長（安芸高田市市長職務執行者）合同の新年互礼会にて

2月20日

安芸太田町戸河内地区で“しし鍋の会”にお呼ばれ。皆様の真心と美味しい手料理で心のしんから温まりました



2月26日

西アフリカ出張からの帰りに種子島の宇宙基地に直行。およそ2年ぶりのHII-A7号機ロケット再開を見届けることができた



2月26日

打ち上げ成功直後。管制室にJAXA（宇宙航空研究開発機構）の立川敬二理事長を訪ね、お祝い



2月27日

河井克行は、汗水流して働いておられる皆様の見方です！



3月13日

外国で数年間の奉仕活動をしている若い協力隊員のご家族に対して、外国出張で実際に会った隊員の活躍ぶりを報告

2月14日

ノーベル平和賞受賞のマータイ女史（ケニアの環境副大臣）と東京で再会。昨年秋にケニアでお会いして以来の語らい



3月24日

3月「愛・地球博」の開会式典会場前で、宇宙飛行士の毛利衛さんと。愛知万博にはその後、10回ほど外国賓客の接遇のために訪れるも、展示館の中には一度も入らずしまい



2月1日

朝8時から自民党本部で開かれる「外交関係合同部会」では、政務官として法案や条約案の説明を行う。これはCチップを搭載した新しい旅券を導入する法案を説明しているところ

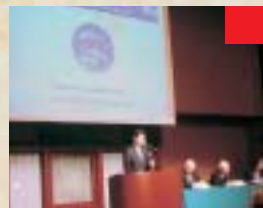


8月6日

原爆被爆者養護ホーム 神田山やすらぎ園にて花束を贈りました。『いつまでもお元気で!』（右は尾辻厚生労働大臣）

3月28日

広島にセンターをもつ国連訓練調査研究所が主催する「平和維持と国連」を主題にした国際会議で演説



2月11日

新球場実現のために広島県選出自民党若手有志の国会議員が「街頭たる募金」に協力（本通り入口にて）

PROFILE

河井克行 かわい かつゆき 42歳
昭和38年3月11日生まれ

■略歴・現職

祇園町立(当時)山本小学校→広島市立安小学校卒業
広島学院中学校・高等学校卒業
慶應義塾大学法学部政治学科卒業
財団法人松下政経塾卒塾

平成3年 広島県議会議員選挙

(広島市安佐南区)初当選

平成8年 衆議院議員総選挙(広島三区)初当選

※衆議院大蔵委員、農林水産委員、安全保障委員など

平成15年 衆議院議員総選挙(比例中国ブロック)再選

自由民主党広島県第三選挙区支部長再任

※衆議院災害特別対策委員会理事、内閣委員会委員、党文部科学部会副部長、総務部会副部長など

平成16年 外務大臣政務官に就任

■家族 妻・河井あんり(広島県議会議員) 愛犬・タロー

■趣味 ジョギング テニス ソフトボール

■好きな食べ物 お好み焼き 麺類



お問い合わせ先

自由民主党
広島県第三選挙区支部

河井克行を育てる会

【国会事務所】〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館518号室
TEL 03-3581-5111 内線7518
TEL 03-3508-7518 (直通)
FAX 03-3508-3948

【広島事務所】〒731-0125 広島市安佐南区大町西1-12(スーパー「ユアーズ大町店」向かい)
TEL 082-831-8735
FAX 082-831-8725
E-mail infoyumekota@g08.enjoy.ne.jp

外務省のホームページでも大臣政務官としての河井克行の活動をご覧になれます

外務省ホームページ <http://www.mofa.go.jp/mofaj/>

トップページ左上の「政務官」をクリックしてください